



協会報

2019

発行日 毎月1日 通算発行 395号

3



今月のトピックス
北陸地方整備局との意見交換会の開催

最近の完成工事から
金沢港県営東部上屋の完成

石川県土木部港湾課



石川の工芸シリーズ 小松市立錦窯展示館蔵
こくたにきんぼしょうかくずきゅうかくざら とくだやそきち
古九谷欽慕松鶴図九角皿<初代徳田八十吉【明治6(1873)年-昭和31(1956)年】>

制作年/昭和30(1955)年 サイズ/直径36.3cm 技法/色絵
江戸時代前期に始まり、約40年間作られたとされる「古九谷」。その色の再現に取り組んだ初代徳田八十吉は、古九谷風の彩色を施した作品の名前に「古九谷欽慕」や「古九谷敬慕」といった冠を付している。本作もその一つで、九角の縁を菱形の割小紋で囲み、大きくとった円窓には松鶴の絵文様を配するなど、古九谷特有の構成を用いている。松鶴文様には若き日に学んだ日本画の技法が生かされ、立体感が感じられる。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人 **石川県建設業協会** 〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL:<http://www.ishikenkyo.or.jp/>



石川の工芸シリーズ
こくたにきんぼしようかくずきゆうかくざら
古九谷欽慕松鶴図九角皿
初代徳田八十吉(とくだやそきち)

1	今月のトピックス 北陸地方整備局との意見交換会の開催	1
2	最近の完成工事から 金沢港県営東部上屋の完成 石川県土木部港湾課	2
3	石川県土木部だより 女性技術者活躍現場の紹介 ~ 金沢港クルーズターミナル建設工事 ~ 石川県土木部営繕課 白川八重子	4
4	平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.2 能登建設株式会社	6
5	雇用改善コーナー 工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する協会長表彰の実施 石川県立翠星高等学校生徒との意見交換会の開催 平成30年度 富士教育訓練センター派遣事業の実施結果	8 9 9
6	地区協会コーナー 大規模災害の発生に備えて (一社)金沢建設業協会	10
7	会員リレーコーナー 183 西村建設株式会社	11
8	今月の「輝き！」さん No.48 株式会社 豊蔵組 中野貴大さん	12
9	協会だより 常任理事会の開催 委員会の開催 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会の開催 建築委員会 技術部会(第1回)開催の結果報告 土地改良委員会 「県農林水産部との意見交換会」の開催 広報・研修委員会 企画部会の開催 建設青年委員会 土木部監理課との意見交換会の開催 環境・情報対策特別委員会 平成30年度ICT活用工事報告会の開催 雇用対策特別委員会 委員会の開催 建設技術研修所 「建設業税財務講習会」の開催結果	13 13 13 14 14 14 15 15 15 15 16 16
10	石川県土木施工管理技士会だより 北陸三県技士会と北陸地方整備局との意見交換会の開催	17
11	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催 平成30年度「私たちの主張」応募作品の紹介 「建設業の魅力」株式会社 金沢舗道 山岸海斗	18
12	業界時報 労働災害発生状況 平成30年度 建設工事受注高調(元請)	19 19
13	会員消息	20
14	県協会からのお知らせ	20
15	地区協会からのお知らせ	21

◆ 今月のトピックス ◆

北陸地方整備局との意見交換会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、2月7日(木)午後1時から、石川県建設総合センター特別会議室において、北陸地方整備局との意見交換会を開催した。北陸地方整備局からは、吉岡幹夫局長、内藤正彦企画部長、牧野浩志建政部長他9名の幹部が出席し、当協会からは、小倉 淳副会長以下役員が出席した。冒頭の挨拶で吉岡局長は、「本年4月に改正労働基準法が施行される。建設業も週休2日が当たり前の産業にならなければならない。生産性向上のためのICT施工については、北陸の中で石川県が最も取り組みが進んでおり全国を引っ張っていただいている。新3Kの実現に向けて我々と皆さんがパートナーとして努力していくことが大切である。」と述べた。



吉岡局長挨拶



小倉副会長挨拶

続いて、小倉副会長は、「県内では、金沢環状道路、金沢港の機能強化など大型公共事業が着実に進展している。国でも、防災、減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策が実施される。また、来年度の国の当初予算でも公共事業費が増加されたことに感謝申し上げる。県協会としても、インフラの整備と維持管理を通して地域の守り手として社会的任務を果たしていきたい。」と述べた。

意見交換では、山岸専務理事が、公共事業予算の継続的・安定的な確保(H30補正予算の早期成立、H31当初予算の増額)と国土強靱化対策の推進、地元建設業者の活用促進と受注機会の確保など、協会の提案議題7項目について趣旨説明・要望を行ったのに対し、北陸地方整備局からは、各項目について資料を示しながら丁寧な回答をいただいた。

協会からの要望事項

1. 公共事業予算の継続的・安定的な確保(H30補正予算の早期成立、H31当初予算の増額)と国土強靱化対策の推進
2. 地元建設業者の活用促進と受注機会の確保
3. 安全で円滑な災害時応急復旧活動の実現
4. 改正品確法運用指針の徹底
5. ICT活用工事を推進するための取り組みの充実
6. 週休2日制の導入に向けた環境整備
7. 工事書類の簡素化



意見交換

最近の完成工事から

金沢港県営東部上屋の完成

石川県土木部港湾課

1 はじめに

金沢港では、コンテナ貨物やクルーズ船の寄港数が近年増加しており、これまで予想もつかなかった大きな変貌を遂げつつあります。こうした金沢港を取り巻く環境変化に対応し、クルーズ・貨物両面から機能強化を図るため、「金沢港機能強化整備計画」を策定し、整備を進めています。

< 金沢港機能強化整備計画 >

新たに「金沢港クルーズターミナル」を整備

アクセス道路、駐車場、緑地を整備

無量寺ふ頭、戸水ふ頭に点在するコンテナ上屋を移転・集約



図 - 1 金沢港機能強化整備計画

2 コンテナ上屋の移転・集約

機能強化整備のうち、コンテナ上屋の移転・集約については、荷役作業の効率化を図るため、御供田コンテナターミナルに隣接した東部工業用地にふ頭用地を拡張し、無量寺ふ頭や戸水ふ頭に点在するコンテナ上屋を集約して新たな大型コンテナ上屋を整備（県営東部上屋と金沢港運東部上屋の2棟に集約）するものであります。

【概要】

< 拡張ふ頭用地 >

面積A=4.1ha（ふ頭内道路L=0.8km）

< コンテナ上屋の構造・規模 >

県営東部上屋

- ・鉄骨平屋建て
- ・延床面積 2,997㎡
(75.0m × 40.0m、H=16.3m)
- ・天井クレーン 吊上荷重30t

(関連施設) 金沢港運東部上屋

- ・鉄骨平屋建て
- ・延床面積 4,500㎡
(112.5m × 40.0m、H=11.5m)

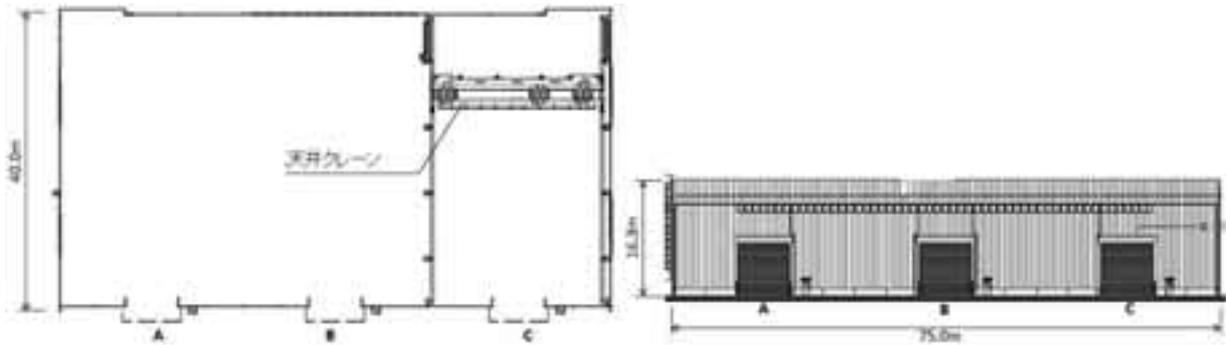


図 - 2 県営東部上屋（平面図、側面図）

工事については、平成29年12月より拡張するふ頭用地の造成にとりかかり、その後、昨年4月にコンテナ上屋の起工式を行い、本年1月に完成の運びとなりました。

この上屋の完成により、2基のガントリークレーンと相まって、荷役作業の効率が大幅に向上し、物流の拠点に相応しい機能強化が図られることとなります。



写真 - 1 完成した上屋

3 完成式

1月28日に新しく完成した県営東部上屋内で行われた式典では、約130名の出席者のもと谷本知事は「金沢港が一層飛躍していく礎となるプロジェクトであり、しっかりと整備を進めていく」と挨拶し、テープカットして完成を祝いました。

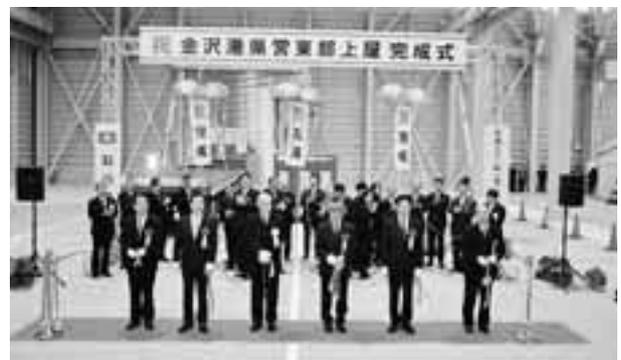


写真 - 2 完成式典

4 おわりに

機能強化整備については、核となる金沢港クルーズターミナルが昨年11月に着工し、工事が本格化している状況であり、金沢港が日本海側の拠点港として更なる飛躍を遂げるため、東京オリンピック・パラリンピック開催前年度の2019年度の完成を目指し、しっかりと整備を進めてまいります。

石川県土木部だより

女性技術者活躍現場の紹介 ～金沢港クルーズターミナル建設工事～

石川県土木部営繕課 白川八重子

1 はじめに

金沢港では、クルーズ船の寄港数が北陸新幹線金沢開業を追い風に急増しており、また取扱貨物量は三年連続で過去最高を更新するなど、日本海側の物流拠点として発展を続けています。こうした金沢港を取り巻く大きな環境変化を踏まえ、ハード面における金沢港の機能強化を図ることとしました。

既存の金沢みなと会館が、CIQ(税関・出入国管理や検疫手続き)を行う施設や待合施設に十分なスペースを有していないことや、老朽化していることを勘案し、新たに「金沢港クルーズターミナル」として建替え工事に着手しています。

2 工事概要

建設場所：金沢市無量寺町地内

延べ面積：約10,600㎡

構造：鉄骨造3階建て

工期：2018年10月～2020年2月

- 特徴：
- ・クルーズ船の二隻同時接岸にも対応できるCIQ・待合エリアの確保
 - ・建物の海側は全面ガラス張りとし、港の眺望を十分堪能
 - ・観光案内、レストラン等の利便施設や、屋根付き展望デッキの整備
 - ・クルーズに使用しない期間におけるCIQ・待合エリアの有効活用(賑わいの拠点)
 - ・子どもたちの港に関する学習の場となるセミナールームの設置



3 女性技術者の活躍に期待

この現場では、女性技術者が多く携わっています。これだけ女性技術者が関わる現場も珍しく、男性技術者と共に現在奮闘中です。

施工者：豊蔵組・北川ヒューテック・高田組・ムラジ建設JV 石本春花さん(北川ヒューテック(株))

意匠設計・監理：(株)浦建築研究所 寺田千恵さん

構造設計・監理：小西建築構造設計 四飯暁子さん

設備設計・監理：(有)ジェーエス設備事務所 坂野真由美さん、下条令子さん

監督員：石川県土木部営繕課 白川八重子

クルーズターミナルは、世界中からクルーズ船の乗客を迎える海の玄関口として老若男女さまざまな方が利用する施設です。クルーズターミナルの建設現場においては、女性ならではの視点や感性が活かされ、よりよい施設となるよう女性技術者の活躍に期待しています。



石本 春花
よりよい建物を目指し、先輩や職人さんと一丸となって頑張ります。

寺田 千恵
海の玄関口にふさわしいデザイン、金沢港のシンボルとなる、賑わい創出の起点施設を目指しています。



四飯 暁子
安全な建物を完成させるために全力で取り組みます。



坂野 真由美
石川県のシンボルの一つの設計・監理に携われて嬉しく思っています。皆様に愛されるクルーズターミナルの完成を目指します。



下条 令子
エネルギーマネジメント業務の経験を活かし、運営者が使いやすい設備となるよう心がけています。



白川 八重子
現場のみなさんが気持ちよく働けるよう、自分のできることを頑張ります。

4 おわりに

開港50周年の節目に向け、2020年春までに整備を終え、クルーズ船の誘致にさらに弾みをつけます。金沢港のさらなる飛躍を願い、完成まで現場一丸となり取り組んでいきたいと思ひます。完成後にはみなさんぜひ遊びにきてください。



平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.2

施工企業名：能登建設株式会社

工事名 飯田港 改修（統合補助）工事（さん橋補修工）

工事分野 港湾漁港工事

施工場所 珠洲市飯田町 地先

工事概要

施工延長 L=29m

上部工 L=11.9m

防食工 N=1式

工期 平成29年10月20日～平成30年3月9日

推薦理由

本工事は老朽化した栈橋において、既設栈橋の取壊し、栈橋上部工、鋼管杭の被覆防食、電気防食を行う、難易度の高い工事であった。

工事は10月下旬から3月上旬までに行われ、波浪の影響を受ける工事であることから、独自の作業中止基準を設けて、安全な工事に努めた。また、さらに環境対策として、海洋汚濁を防止するために汚濁防止膜を設置するとともに、航行船舶へ周知する浮標灯を設置するなど安全対策に十分に配慮した結果、漁業関係者とのトラブルもなく、工事を完成させた。

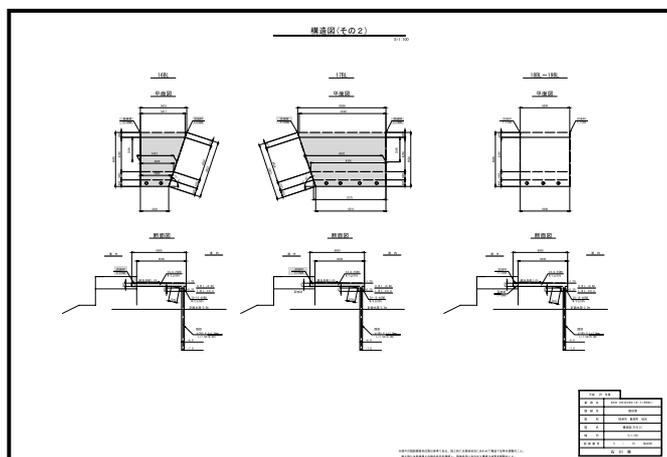
さらに、今年は例年になく大雪であり、進んで港湾周辺道路の除雪を行った。また、波浪により打上げられたゴミを撤去処分するなど、積極的に実施し、港湾利用者への貢献度が高い。



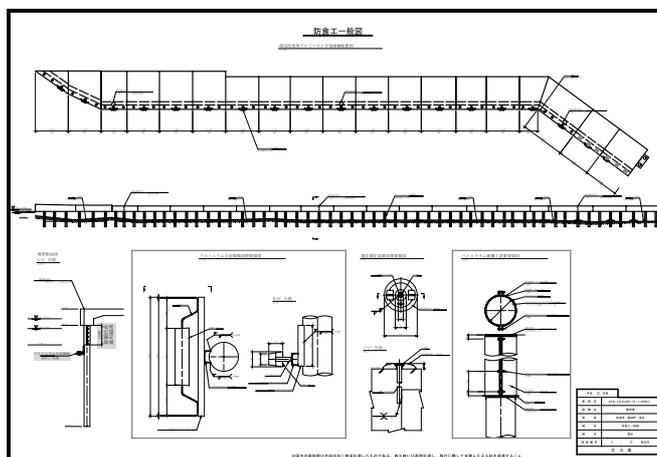
着工前



完成



構造図



防食工



ワイヤーソーイング切断状況



海面下支保工施工状況



コンクリート打設状況



鋼管杭 肉厚測定



電気防食工 水中溶接状況



既設鋼管杭 被覆防食

現場代理人のコメント



現場代理人
矢鋪 晃氏

この度は、優良建設工事知事表彰という大きな評価を頂きまして、ご指導いただきました珠洲土木事務所の担当監督員並びに職員の皆様、関連業者の方々、漁業関係者や近隣住民の皆様のご理解とご協力に、心より感謝とお礼を申し上げます。

本工事では、鋼管杭の肉厚測定や電気防食工での水中溶接など潜水作業も多くあるため作業順序や各作業の施工規格値、写真管理項目等についても関係作業者と書面にて何度も打合せをして意思の疎通を図ったうえで作業を行い、水中カメラで撮影した画像はその場で確認をして、手戻りの無い円滑な潜水作業となるように心掛けました。

既設栈橋の取壊しや栈橋上部工では、環境対策として汚濁防止膜外への資材や廃棄物の流出防止に特に留意して施工にあたりと同時に、強風や高波による災害事故防止にも重点を置いて、作業員による相互監視・相互注意で労働安全に取り組みました。

工事施工中は、担当監督員と実施工程における立会確認等の綿密な打ち合わせを行い、幾度となく現場に足を運んでいただいたおかげで、無事工期限内に工事を完了することができました。本工事で学んだコミュニケーションの大切さを忘れることなく、これからもより安全でより良い工事を行っていきたいと思います。

雇用改善コーナー

工業系高等学校における学業成績優良卒業生に対する 協会長表彰の実施

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、若年労働者の人材確保・育成事業の一環として、県内の工業系高等学校を対象に、学業成績・学習態度が優秀で、生徒会活動や部活動等に功績があり、卒業後は当協会の会員企業に内定し、学校長の推薦のある生徒を表彰している。

本年度は下記の2名に対し表彰を行うこととした。

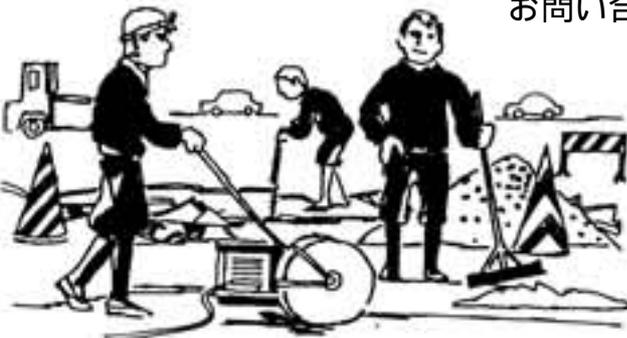


学校名	石川県立小松工業高等学校 (建設科)	石川県立羽咋工業高等学校 (建設造形科)
氏名	中村 魁	坂口陽音
就職内定企業	道場建設株式会社	株式会社杉本工務店

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社
 TEL 076 - 231 - 7787
 FAX 076 - 231 - 7766
 〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20
 中屋三井ビル2F

石川県立翠星高等学校生徒との意見交換会の開催

(一社)白山野々市建設業協会(会長 北野一郎)は、2月1日(金) 翠星高校を訪問し、環境設計分野の2年生20名と意見交換会を行った。意見交換会は、例年、同協会の青年委員が中心となって開催しているもので、冒頭、稲葉幹雄校長の挨拶に続き、白山野々市建設業協会の谷端正宗副会長が、「建設業はライフラインを守り地域に貢献できる大変やりがいのある仕事。将来の選択肢の一つとして選んでいただければ幸い。」と挨拶した。

続いて、建設業を紹介するDVD「未来を創りふるさとを守る建設産業」を鑑賞した後、同校OBにより以下の内容のプレゼンテーションが行われた。

- ・現場監督の仕事内容((株)ヨネミツ 山本 岳)
- ・会社に入ってからライフサイクル((株)北野組 北野大輔)
- ・先端技術機器の紹介((株)共和建設 若島 聡)

その後、休憩を挟んで生徒と青年委員が2つのグループに分かれ意見交換を行った。生徒からは、「休日について」、「仕事の内容について」、「仕事で嫌なことは」などの質問が出されるなど終始和やかに意見交換が行われた。

最後に、参加生徒全員が意見交換を通して感じたことを発表し、「建設業に対する悪いイメージが良くなった。」「仕事を早くしてみたいと思った。」「建設業に興味がでてきた。」などの感想が述べられ閉会となった。



平成30年度 富士教育訓練センター派遣事業の実施結果

雇用対策特別委員会(委員長 岡 昌弘)は、担い手確保育成事業の一環として、建設業界に就職が内定している県内高校生を対象とした富士教育訓練センターへの派遣事業を実施した。本事業は、東日本建設業保証株式会社の御協力による「就職前準備研修」2日間を受講した後、「小型移動式クレーン技能講習・玉掛け技能講習」または、「車両系建設機械運転技能講習」を受講する2つのグループに分かれ、2月9日(土)から16日(土)までの7泊8日の日程で実施した。34名の受講者にとっては、慣れない環境で長期間の研修となったが、資格取得と同時に社会人としての心構えも学習できる大変貴重な時間となった。

なお、期間中は事務局の坂本・室山が常駐した。



地区協会コーナー

大規模災害の発生に備えて

(一社)金沢建設業協会

事業継続計画（BCP）の策定

(一社)金沢建設業協会は、石川県や金沢市と災害協定を締結し、災害時にも事業が継続でき、建設業界として迅速・確実に災害時の対応を行う社会的責任を果たし、災害復旧を通じて地域社会に貢献できるように、平常時から事業継続について戦略的に準備しておく事業継続計画（BCP）を平成26年に策定しています。

BCP訓練の実施

当協会では、石川県県央土木総合事務所や金沢市にも参画いただき、協会が作成した事業継続計画（BCP）に基づき、安否確認システムを利用した協会の安否確認や情報伝達等の初動体制の訓練を実施しています。

今年度の訓練は、10月25日（木）に森本地区において震度6強の地震が発生したとの想定で、直ちに青年委員会技術・防災セクションメンバーが当協会に参集し災害支援本部の設置準備を行い、本部長が災害支援本部の設置宣言の後、協会の安否確認と緊急輸送道路のパトロールを実施し、その結果を災害支援本部へ情報伝達するとともに、土木・建築の両部会長から県央土木総合事務所及び金沢市へ報告するという内容で行われました。

また、12月10日（月）には、事前連絡なしに同様の訓練を抜き打ちで実施することで、協会の意識を高め、万一の事態に迅速に対応できるような体制作りを努めています。



参考：災害支援本部設置基準

- ・震度5弱以上の地震が発生した場合
- ・地震、風水害等の災害が発生し、その規模及びその状況により、協会長が災害応急対策を行うための特別の措置を講じる必要があると認めた場合
- ・災害に関する警戒宣言が発令され、本部の設置が必要であると認められる場合

会員リレーコーナー

183 西村建設株式会社
(所在地：羽咋郡志賀町末吉巖16)



西村建設株式会社

社章

弊社は、先代の父が生粋の商売人で、自転車でアイスクャンディーを売り始めたのが“商い”としてのきっかけと聞いております。その後、オート三輪で雑貨販売をし、また、砂利等の販売、道路修繕等をおこない、昭和39年個人での創業以来、昭和52年2月に西村建設(株)として法人化し、石川県知事登録の特定建設業者として現在に至っております。

先代の後を引き継ぎ、会社の経営を任されて以来、“あっという間に過ぎた。”というのが今の実感です。その間、世の中の状況も目まぐるしく変わり、この業界でも電子化が進み、近年ICT施工が活用されるなど、時代の流れは、倍速となっております。

当社も一昨年、のと里山海道4車線化事業での改良工事において、ICT建設機械による施工を実施致しました。なにぶんにも初めての施工方法で、現場代理人は勿論のこと、重機オペレーター、作業員に至るまで、普段とは違う緊張感で作業に取り組んでおりました。また社員全員でのサポート体制も整え、結果無事、工事引渡し完了した時には、私は勿論のこと、社員全員が安堵しておりました。

この時、当社のモットーである、全社員一丸となり頑張ろう!が、発揮された実感、本当に嬉しく思いました。さらに、小規模な当社のような会社でも、ICT建設機械での施工という貴重な



社屋

経験をさせて頂き、おかげさまで、昨年11月知事表彰を頂けましたことは、本当にありがたく誇りに思っております。(1990年7月の知事表彰受賞以来です。)

現在、業界では“人材不足”が課題となっておりますが、当社でも厳しい状況であることは間違いありません。そこで、この状況を少しでも打開するため、また、若手が働きやすい職場となるようにと考え、最低月2回の週休2日制を目標として取り組んでおります。

このような状況ではありますが、少しでも地域貢献ができればと思い、私自身も微力ながら、除雪作業の協力をさせて頂いております。また、今年度は降雪量が非常に少なかったのですが、昨年は集中豪雨による、何件もの床下浸水の被害が発生したり、台風による倒木等、さまざまな予期せぬ自然災害が発生しました。このような時も、当社としましては、できる限り災害時の応急対応の協力をさせて頂いております。

最後になりますが、“おかげさまで”の気持ちを忘れず、今後も一建設業者として、社員と共に頑張っていきたいと思っております。

今回は道場建設株式会社 代表取締役 道場義継さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願いいたします。

(西村建設株式会社 代表取締役 西村正宏)

今月の「輝き！」さん

No. 48



株式会社 豊蔵組 中野貴大さん

業 種：土木部工事課
 経験年数：3年
 年 齢：23歳

金沢市長土堀3丁目の(株)豊蔵組の本社に今月の輝きさんの中野貴大さんを訪ねました。

- 最初にあなたの会社について教えてください。
 私が勤務する株式会社豊蔵組は、土木、建築、建築企画などの事業を手掛ける従業員数90名の総合建設業の会社です。私は土木部工事課に所属し、道路改良・維持工事など幅広い分野で現場管理を担当しています。

- あなたの経歴とこの会社への入社動機について教えてください。

私は能美市に生まれ、地元の小・中学校を経て石川工業高等専門学校環境都市工学科を卒業しました。就職に際しては、子供のころからものづくりに興味があったことに加え、生まれ育った地元になんか貢献したい、より暮らしやすい街づくりがしたいという思いがありましたので、県内でも有数の総合建設業である当社に入社しました。

- 入社して3年ということですが、心に残る現場などはありますか？

入社後、県送水管耐震化事業、梯川樋管工事、能越道道路改良工事などの現場を経験しました。中でも、昨年施工した能越道道路改良工事の現場は、ICT建機を活用した現場で特に印象に残っています。建設業界

では、ICT技術の活用による生産性向上を進めており、当社もこの取り組みに力を入れています。3次元データを使った施工管理をはじめ最先端の建設機械や施工技術を実感し、この業界の可能性を強く感じました。建設の技術は日進月歩で進んでおり、10年、20年後がとても楽しみです。

- 仕事にやりがいを感じる時は？

現場では、小さな不安全行動が重大な事故に繋がる恐れがあります。現場監督としては、安全を最優先とし作業工程にも配慮しながら段取りよく仕事を進めなくてはなりません。その努力が報われ工事が無事完成したときにこの上ない満足感とやりがいを感じます。

- 趣味、スポーツ、休日の過ごし方は？

小・中学校を通じてサッカーをしていました。今は、会社のスポーツ同好会に所属しフットサルをしています。また、会社として金沢城リレーマラソンに参加したり金沢マラソンでボランティアも経験しました。休日は、旅行や趣味のスロットやゲームを楽しみます。時には仕事を忘れてリフレッシュすることも大切だと思います。

- 将来の目標、夢は？

上司・先輩のご指導をいただき早く一人前になって現場を任せてもらえるようになりたいと思っています。技術の進歩とともに現場監督の仕事内容も変化していくと考えていますが、常に最先端で仕事ができるよう新しいことにも挑戦し、会社の発展に貢献できればと思っています。

- 最後に、就活中の若者に伝えたいことは？

建設業は3Kのイメージが強いのですが、最近の工事現場では、3次元測量やICT施工など最新の技術も導入されていますし、業界全体としても、休日や時間外勤務などに関する働き方改革も進められています。私も入社後に3Kなどと感じたことはありません。また、当社では、多数の女性技術者も活躍しています。就活中の皆さんには、建設業界にもっと興味を持って貰えると嬉しいです。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、2月4日(月)午後2時から石川県建設総合センター特別会議室において常任理事会を開催した。

小倉副会長の挨拶に続いて次の議題について審議・報告された。

1. 北陸地方整備局との意見交換会について

2月7日(木)開催の北陸地方整備局との意見交換会の議題等について山岸専務理事が資料に基づき説明した。

2. 建設業をめぐる最近の話題について

国土強靱化計画の改定、国の2019年度当初予算案、品確法改正プロジェクトチームの始動などの話題について、山岸専務理事が資料に基づき説明した。

3. 会員受注高調べについて

平成30年12月末現在の建設工事受注高調べについて、山岸専務理事が資料に基づき説明した。

4. 今後の主な日程について

平成31年2月及び4月までの当面の行事予定について、五天事務局長が説明した。

5. 地区協会からの報告について

各地区協会から、当面の行事予定、業界事情、地域の出来事等について報告された。



委員会の開催

土木委員会

金沢河川国道事務所との意見交換会の開催

土木委員会(委員長 竹腰勇ノ介)は、2月1日(金) ANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて、国土交通省所管の工事について金沢河川国道事務所との意見交換会を開催した。意見交換会には、金沢河川国道事務所より事務所の山田哲也氏、副所長の大角一浩氏、安達志郎氏、工物品質管理官の古山利也氏の4名の方々に出席を頂き、県協会から鶴山副会長、土木委員会からは竹腰委員長をはじめとする40名の委員と事務局が出席した。



冒頭に竹腰委員長と山田事務所長の挨拶の後、事務所長の山田哲也氏より「直轄事業等に関する最近の

話題について」と題して講演を頂き、引き続き当委員会の浦副委員長が「プロジェクト成功のための秘策について」と題し講演した。

意見交換会では、土木委員会より 入札・契約関係(1議題) 総合評価関係(1議題) 設計積算関係(7議題) 施工関係(5議題) 監督・検査関係(2議題) その他要望意見(1議題)の17議題について、当委員会の副部長及び懇話会座長から要望や提案事項の趣旨説明の後、金沢河川国道事務所からの回答を受け、その後に各委員と発注者の双方による活発な意見交換が行われ、散会した。

建築委員会

技術部会(第1回)開催の結果報告

技術部会(部会長 本田正敏)は、2月8日(金)に当協会にて部員9名の参加にて開催した。

本田部会長の挨拶の後、事務局より、県発注工事の現場実態調査と工事費実態調査を行うこととし、今年度調査対象事業は、平成29・30年度に県発注建築大型工事(概ね1億円以上の建築工事)の中で、今年度中に完成する13件になると報告され、これらを調査対象とすることが承認された。

また、調査報告の提出時期を2月末とし、3月中に第2回の技術部会を開催し、調査結果を取り纏めることも決定された。

さらに今後、技術部会として登録解体工事技術者講習やBIM、情報共有システムの講習開催などを検討していくことなど意見交換がなされ、最後に表副部会長の挨拶で有意義に部会を終えた。



土地改良委員会

「県農林水産部との意見交換会」の開催

技術検討部会(部会長 小柳 誠)は、2月20日(水)金沢ニューグランドホテルにおいて、平成30年度「県農林水産部との意見交換会」を開催した。県から農林技術管理室の北出一郎室長、三浦正幸担当課長、上原良太専門員及び農業基盤課の家元雅夫担当課長の4名をお迎えし、技術検討部会からは小柳部会長以下18名が参加した。

冒頭、小柳部会長の開会挨拶と北出室長の来賓挨拶の後、県からの情報として、農業基盤課の家元担当課長から「平成30年度補正及び平成31年度農業農村整備事業関係予算」について説明を頂いた。

その後、技術検討部会から、区画整理工事を中心に検査2項目、設計積算2項目、工事一般4項目、予算等1項目を県への意見・要望として提示した。

具体的には、区画整理工事に係る重機の計上や検査の合理化等の意見や要望事項について趣旨説明を行った後、県から回答を頂き、双方による活発な意見交換が行われた。

最後に、県から農業農村整備事業に係る工事の余裕期間制度「発注者指定方式、任意着手方式、フレックス方式」について資料の提示があり、今後の方針等について意見交換を行い閉会した。

広報・研修委員会

企画部会の開催

企画部会（部会長 高田直人）は、2月18日（月）午前10時30分から、石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭高田部会長の開会の挨拶が行われた後、引き続き下記議題について次の通り審議・報告を行った。

1. 協会報3月号について
事務局説明の編集計画が承認された。
2. 研修所からのお知らせ
 - ・平成31年度新入社員研修
 - ・平成31年度ドローン講習会について概要の報告が行われた。
3. 研修旅行について
6月に実施予定の研修旅行について事務局から説明がなされた。
4. その他
来年度の測量コンテストの内容等について意見交換が行われた。



建設青年委員会

土木部監理課との意見交換会の開催

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は、2月12日（火）午後4時からANAホリデイ・イン金沢スカイにて委員30名出席のもと石川県土木部との意見交換会を開催した。

石川県土木部からは畠山次長、宮田技術管理室長他2名のご参加を頂いた。

北川委員長挨拶の後、「石川県土木部における最近の動向について」の演題で畠山次長よりご講演を頂き、その後意見交換会を行った。

委員からは、ICT施工に関してや、土日おやすみモデル工事の問題点等について質問があり、活発な意見交換が行われた。



環境・情報対策特別委員会

平成30年度ICT活用工事報告会の開催

北陸ICT戦略研究会（国土交通省北陸地方整備局）の構成メンバーである当協会「環境・情報対策特別委員会（委員長 長坂知通）」は北陸地方整備局と共催して、2月27日（水）に石川県建設総合センターで「平成30年度ICT活用工事報告会」を開催した。

この報告会は、i-Constructionにおける「ICTの全面的な活用」のより一層の普及を図るために、建設業

に従事する技術者を対象に、平成30年度にICT施工（土工、舗装、河川浚渫、CIM活用）に取り組んだ工事受注者等から、ICT活用のメリットや施工上の留意点・課題等について、報告を頂いた。

【報告内容】

1. ICT土工の事例報告（5事例）
2. 各県からの取り組み報告（富山県、石川県）
3. i-Construction 推進コンソーシアムの取り組みについて（1事例）
4. 北陸地方整備局からの情報提供（補助金・税制優遇など）

今回の報告会には、当協会会員や石川県内・隣県の建設関係企業、官公庁職員（国・県・市）など約160名が参加した。



雇用対策特別委員会

委員会の開催

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、2月26日（火）午前10時30分より石川県建設総合センター4階401会議室において、委員22名、工業系学校関係者7名の出席にて平成30年度第2回目の委員会を開催した。

冒頭、岡委員長は、「自然災害が多発し、応急復旧インフラ点検等、建設業が地域の守り手として社会に果たす役割はますます重要になってきている。担い手の確保・育成に向け、給与面での改善、週休2日制の定着促進など、建設業が「給与・休暇・希望」の新3Kの魅力ある業務であることを、若者だけでなく社会全体に認識していただく必要がある」と挨拶した。

続いて、石川県土木部監理課より行政連絡として、監理課が主体となり実施している「将来の担い手確保の支援」についてご説明をいただいた後、事務局から平成30年度事業報告が行われ閉会となった。

平成30年度実施事業

- ・現場見学会
- ・インターンシップ
- ・工業系高校生との意見交換会
- ・富士教育訓練センター派遣事業
- ・工業系高校学業成績優良卒業生表彰



建設技術研修所

「建設業税財務講習会」の開催結果

建設業税財務講習会を（一財）建設業振興基金と共催し、石川県建設総合センターで開催した。

講習会には会員企業などの経営者、経営幹部、経理担当、現場代理人等46名が参加した。公認会計士・

税理士の丹羽秀夫氏が「建設業の会計と税務」を演題に講習した。講習会では、民法の改正、消費増税の改正もふまえ請負工事において留意すべき税務上の項目などを解説した。

終了後のアンケートでは、ほとんどの受講者から「参考になった。」「講師の話が分かりやすくて良かった。」「今まさに知りたい内容の講習だった。」「今後も経理関係の講習会を定期的で開催してほしい。」などと好評価をいただき大変有意義な講習会となった。



記

日 時 平成31年2月26日(火) 13:30～16:30
場 所 石川県建設総合センター 5階第一研修室
講 師 丹羽 秀夫 氏
受講人数 46名

石川県土木施工管理技士会だより

北陸三県技士会と北陸地方整備局との意見交換会の開催

石川、富山、新潟の北陸3県の土木施工管理技士会と北陸地方整備局との意見交換会が2月26日(火)新潟東映ホテルにて開催された。

北陸地方整備局の出席者は、吉岡幹夫局長、内藤正彦企画部長のほか幹部5名、技士会側は、全国技士会連合会の谷口会長、小林専務理事、各県技士会会長、副会長及びそれぞれの事務局が出席した。

会議では冒頭に吉岡局長より、建設業の現況と今後の課題について説明があり、特に技術者の必要性、課題について言及し、品質確保、人材の確保・育成に力を入れ、新3Kの実現に向け積極的に取組まなければいけないと述べた。引き続き、3県技士会を代表して高田富山県技士会会長からは、予算が増加していることから、明るい兆しが少しずつ見えてきてはいるが、働き方改革、生産性向上という難しい課題を与えられている。その中で、担い手の確保も含め、建設業に若い人が入職してくれるよう魅力の発信をしていきたいと述べた。続いて、谷口会長より、働き方改革や担い手の確保の課題について話があり、全国技士会としては、技術者の社会的地位の向上、官民の連携の強化を中心に活動していくと述べた。

次に、3県技士会からの提案議題について各県の技士会会長が説明を行い、それに関する回答や質疑のあと、具体的な事項について意見交換を行った。提案議題としては、石川県土木施工管理技士会より、「工事の品質確保に向けた品質管理体制(品質証明制度)について」、富山県土木施工管理技士会より、「建設現場における監理技術者の兼務について」、「2級土木施工管理技術検定試験の実務経験年数の見直しについて」、新潟県土木施工管理技士会より、「監理技術者補佐(仮称)制度の早期創設について」の4議題について、活発な意見交換が行われ、散会した。



国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

平成30年度

「私たちの主張」応募作品の紹介

「建設業の魅力」

株式会社 金沢舗道 山岸海斗

私は今年で建設会社に入社をして、3年目になります。そんな私は、舗装工事に携わっています。この作文を書くにあたって、私はどうして建設業の仕事に就いたのだらうと思ひ返してみました。それは人の役に立つ仕事がしたかったからです。私はこの仕事に就くまで、これといって人の役に立つ事をしたことがありませんでした。そこで思い浮かんだのが建設業でした。私たちが普段利用している公共施設等の構造物は、建設業によって建てられています。建設業というのは人の役に立ちたいと思っていた私にとっては絶好の仕事だったのです。そんな理由で建設業の世界に飛び込んでから早3年。入社1年目の夏は、上からくる太陽の暑さと下からくるアスファルト合材の熱さで毎日が地獄のようでした。また冬は、雪の中、防寒服を着て寒さに耐えながら一日一日を乗り切るのが精一杯でした。1年目から建設業の大変さを肌で感じながらも、建設業の魅力も感じていました。その魅力とはチームプレーです。建設業の仕事というのは、一人ではできません。私が携わっている舗装工事が良い例です。入社して間もない頃、数百メートルもある大規模な舗装工事がありました。10tダンプでアスファルト合材を運び、アスファルトフィニッシャーで合材を敷均しながら、手元作業員が整形し、その後に、タンデムローラーとタイヤローラーで転圧作業をしていました。私は何をしていたか分からず、ただ見ているだけで

した。先輩から作業方法を教えてもらい、怒られながらも精一杯作業しました。一人一人が自分の役割に誇りと責任を持って、舗装工事が進められました。作業が終了し、完成した道路を見てみると、私たちが普段使用している綺麗な道路が出来上がっていました。現場にいる全員が自分のやるべき事を理解し、協力して完成した道路は、チームプレーでできていると言っても過言ではありません。現場にいる誰か一人でも手を抜いていると、きれいな舗装はできませんし、チームプレーとは言えません。その時私は、現場の流れを覚えて、早く上司や先輩みたいな一流のオペレーターになりたいと強く思いました。私は今もこの気持ちを忘れずに、日々の作業に取り組んでいます。3年が経ち、できる事も増えてきてはいますが、まだまだ覚えていかなければいけない事も多く、毎日が勉強の日々です。建設業の仕事は決して簡単ではなく、たまに、仕事の大変さに負けてしまいそうになりますが、一流のオペレーターになることを目標に、これからも努力を続けていきたいと思ひます。入社した当初は建設業の仕事に圧倒されていた私ですが、今では建設業の魅力の方が上回っています。これからも地域の方により良い道路を使用して頂く為に、日々努力し、技術を身に付け、明るい未来を創造していけるように頑張っていきたいです。

業 界 時 報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成31年分）

平成31年1月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署		(1) 1	1	(1) 2		27
小松監督署				0	1	5
七尾監督署	1		1	2		4
穴水監督署				0		
計	1	(1) 1	2	(1) 4	1	36
前年同期		1		1		34

()内は木建工事 内は死亡者数

平成30年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
11月分	186	108	172.2%	1,362	1,210	112.6%	1,548	1,318	117.5%
12月分	146	124	117.7%	1,575	1,695	92.9%	1,721	1,819	94.6%
1月分	107	102	104.9%	744	952	78.2%	851	1,054	80.7%
年度累計	2,658	3,479	76.4%	21,088	24,592	85.8%	23,746	28,071	84.6%
28年度累計		4,227	62.9%		20,529	102.7%		24,756	95.9%
27年度累計		2,723	97.6%		23,368	90.2%		26,091	91.0%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
11月分	2,836	3,910	72.5%	450	5,219	8.6%	3,286	9,129	36.0%
12月分	2,646	2,348	112.7%	621	3,245	19.1%	3,267	5,593	58.4%
1月分	1,901	1,965	96.7%	772	750	102.9%	2,673	2,715	98.5%
年度累計	33,502	31,644	105.9%	9,782	17,638	55.5%	43,284	49,282	87.8%
28年度累計		41,249	81.2%		10,960	89.3%		52,209	82.9%
27年度累計		34,909	96.0%		12,956	75.5%		47,865	90.4%

合 計（民間 + 官公庁）

	30年度	29年度	%
11月分	4,834	10,447	46.3%
12月分	4,988	7,412	67.3%
1月分	3,524	3,769	93.5%

	30年度	29年度	%
年度累計	67,030	77,353	86.7%
28年度累計		76,965	87.1%
27年度累計		73,956	90.6%

会員消息

今回届け出があったのは次の2件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
(株)新井組	新井 秀雄	新井 裕一	平成30年12月15日
ナナオ土建(株)	吉田壽賀子	高橋 育	平成31年1月11日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成31年3月行事予定

- 3月 1日(金) 建設産業人材確保・育成推進協議会
(東京 全日通電が関ビル)
佐藤のぶあき石川県建設業後援会選挙対策会議
(金沢市内)
- 4日(月) 正副会長会議
全国建産連 総務委員会
- 6日(水) 全国建産連 専門工事業委員会
(東京 建設業振興基金)
全建 経営委員会 (東京 東京建設会館)
土木委員会研修会(～10日)
i-Con・BIM/CIM ビデオセミナー in 小松
(小松能美建設業協会)
- 7日(木) 建築委員会 能登地区安全パトロール
(能登町新庁舎)
全建 労働委員会 (東京 東京建設会館)
産業廃棄物講習
- 8日(金) 技士会 DVDセミナー (小松能美建設業協会)
建築委員会 防災訓練合同班長会議
- 9日(土) 経理検定試験準備
- 10日(日) 建設業経理検定試験
- 12日(火) 北陸青年会議所北陸地方整備局との意見交換会
(新潟 新潟建設会館)
- 13日(水) 大規模地震災害防災訓練 (県内全域)
- 14日(木) 働き方改革取組発表会・講演会
(石川県地場産業振興センター)
三県協会事務局会議 (富山県民共生センター)
石川県左官業組合連合会 定期総会
(ANA クラウンプラザホテル金沢)
- 15日(金) 会報編集委員会
技士会 DVDセミナー (七尾鹿島建設業協会)
けんせつフェア北陸 in とやま2019実行委員会
(北陸技術事務所富山出張所)
- 16日(土) ドローン講習会(プレ) (金沢市七曲)
- 18日(月) 金沢協会 理事会
全建 協議委員会 (東京 経団連会館)
建退共 評議委員会 (東京 経団連会館)
- 19日(火) 建設業福祉共済団 全国会長会議
(東京 経団連会館)
広報・研修委員会 企画部会
建設業振興基金 参与会 (東京 経団連会館)
建設業災害防止協会 第143回理事会
(東京 経団連会館)
北陸ICT戦略推進会議 (北陸地方整備局)

- 20日(水) 土地改良委員会 全体会議
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 25日(月) 建退共 支部事務局長会議
(東京 リビエラ東京)
いしかわ住宅耐震ネットワーク協議会
(石川県庁)
- 26日(火) 全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)
- 27日(水) 第2回暴力団等対策特別委員会
- 28日(木) 耐震診断等評定委員会運営協議会
(石川県建築士事務所協会)
事務局打合せ
- 29日(金) ドローン講習会(第一回)1日目
- 30日(土) ドローン講習会(第一回)2日目(金沢市七曲)

平成31年4月以降の行事予定

- 4月 2日(火) 新入社員研修 開講式・講習
- 3日(水) 正副会長会議
常任理事会
- 26日(金) 正副会長会議
- 5月13日(月) 建災防 理事会
組合 理事会
協会 理事会
- 22日(水) 全建協連 総会
- 27日(月) 建災防 総会
組合 総会
協会 総会
- 29日(水) 全建 総会

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 3月 5日(火) テレビ講座
- 6日(水) 献血奉仕活動
- 7日(木) 災害時体制正副班長会議
- 12日(火) 土木：役員会
- 18日(月) 常任理事会・理事会
- 22日(金) 入札・契約制度等説明会

《お知らせ》

- 4月 8日(月) まちなか協働パトロール出発式

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 3月 5日(火) 監理技術者講習
- 6日(水) 建災防加賀分会 安全パトロール
- 19日(火) 役員会
- 3月中 総務企画委員会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 3月 5日(火) 監理技術者講習
- 6日(水) JACIC ビデオセミナー
- 8日(金) 土木施工管理技士会セミナー
- 17日(日) こまつ水辺クリーンデー

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 3月 8日(金) 献血活動
- 下旬 理事会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 3月 4日(月) 県央土木総合事務所との意見交換会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 3月 5日(火) 監理技術者講習会
- 6日(水) 土木部会役員会
- 26日(火) 理事会
- 下旬 県管理河川において堤防等の点検パトロールを実施(土木部会)

《お知らせ》

- 4月23日(火) 監事会
- 24日(水) 理事会
- 5月22日(水) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 3月 3日(日) 能登和倉万葉の里マラソン2019 ボランティア活動

《お知らせ》

- 4月10日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 3月 7日(木) 県協会建築委員会能登地区安全パトロール
- 15日(金) 能登産業技術専門校後期修了式
- 20日(水) 奥能登土木委員会 役員会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 3月 5日(火) 監理技術者講習会
- 8日(金) 建設現場安全パトロール
- 26日(火) 理事会

消費税の軽減税率制度への対応には準備が必要です!



2019年10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられるのと同時に、軽減税率制度が実施されます。軽減税率制度への対応には、事前準備に相応の時間が必要な場合があります。早めの準備をご検討ください。

標準税率10%と、飲食料品に係る軽減税率8%について

- 帳簿・請求書等を税率ごとに区分して記載することが必要となります。
- レジや受発注システム・会計システム等の導入・改修・入替えが必要になることがあります。

軽減税率制度に関する情報

消費税率の軽減税率制度

軽減税率制度に関するお問合せ先

消費税率軽減税率電話相談センター 【専用ダイヤル】0570-030-456
(軽減コールセンター) (受付時間) 9:00~17:00(土日祝除く)

軽減税率制度の説明会を全国で開催しています。ぜひご参加ください。

開催日時、場所については [軽減税率説明会](#) を検索

軽減税率対策補助金に関するお問合せ先

軽減税率対策補助金事務局 【専用ダイヤル】0570-081-222
URL <http://kzt-hojo.jp/> (受付時間) 9:00~17:00(土日祝除く)